

## 令和4年(1~12月)冷凍食品の生産・消費について(速報)

4月21日、一般社団法人日本冷凍食品協会(会長 大櫛頭也)では、令和4年の冷凍食品の生産・消費調査結果を公表しました。

- ◎ 国内生産量は前年比0.7%増。出荷額は4.0%増の7,639億円と過去最高。
- ◎ このうち家庭用、業務用ともに数量・出荷額は増加し、家庭用はいずれも過去最高。前年に続き、数量・金額ともに家庭用が業務用を上回った。

- 国内生産は、数量が1,599千トン(対前年比(以下、同じ)100.7%)と前年を上回り、過去最高だった平成29年(2017年)の1,600千トンとほぼ同水準。金額(工場出荷額)は7,639億円(104.0%)と前年を上回り、過去最高となった。
- 家庭用は数量が8年連続増加し、805千トン(100.8%)、金額が4,061億円(103.7%)となり、数量・金額ともに過去最高。業務用は数量が794千トン(100.6%)、金額が3,578億円(104.4%)と前年を上回った。
- 数量では、前年に初めて僅かながら家庭用が業務用を上回ったが、4年も同様となった。金額では3年連続で家庭用が業務用を上回った。

- ◎ 品目別(大分類)生産量では、水産物は減少、農産物はほぼ前年並み、大半を占める調理食品はやや増加した。
- ◎ 品目別(小分類)生産量では、1位うどん、2位コロッケは変わらなかったが、3位は前年の炒飯からギョウザに入れ代わった。
- ◎ 小分類の品目では、春巻、ギョウザ、パスタなどが大きく増加。

- 大分類の品目別生産量では、水産物(94.5%)が減少したほか、2年連続減少していた農産物(99.8%)がほぼ前年並み、国内生産の大半を占める調理食品(100.9%)はやや増加した。
- 小分類の品目別生産量では、1位うどん、2位コロッケは変わらなかったが、前年4位のギョウザが大幅に増加し3位となり、やや減少した炒飯が4位となった。
- 小分類の品目で前年に対して量的に大きく増加したのは、春巻(122.9%)、ギョウザ(103.9%)、パスタ(105.7%)などであった。

- ◎ 冷凍野菜の輸入量(7.2%増)、輸入額(38.7%増)とも大幅に増加。
- ◎ 国内消費量は3.0%増加、1人当たり年間消費量も23.9kgと、いずれも過去最高。

- 財務省貿易統計による冷凍野菜の輸入量は、1,149千トン(107.2%)、輸入額は2,822億円(138.7%)といずれも大幅に増加した。
- 国内消費量(「冷凍食品国内生産量」、「冷凍野菜輸入量」、「調理冷凍食品輸入量」の合計は、2,981千トン(103.0%)、1人当たりの年間消費量は0.8kg増加し23.9kgとなり、いずれも過去最高となった。

## 令和4年(1~12月)冷凍食品の生産・消費について(速報)

一般社団法人 日本冷凍食品協会

令和4年冷凍食品の生産・消費について(速報)は以下の通りです。なお、令和3年の数値については、速報値を一部修正し、確定値にしています。

## 1. 国内生産

## (1) 総論

令和4年(1~12月)のわが国の冷凍食品国内生産は、数量が1,598,808トン(対前年比(以下、同じ)100.7%)と前年を上回った。また、金額(工場出荷額)も7,639億円(104.0%)と前年を上回り、調査開始以来最高となった。

表-1

		工場数		企業数		数量		金額	
			対前年比		対前年比	トン	対前年比	億円	対前年比
平成24年	2012年	523	91.4%	437	91.4%	1,476,368	104.1%	6,433	102.1%
25	2013	513	98.1%	422	98.1%	1,550,085	105.0%	6,774	105.3%
26	2014	511	99.6%	419	99.6%	1,541,891	99.5%	6,805	100.5%
27	2015	480	93.9%	416	99.3%	1,519,883	98.6%	6,870	101.0%
28	2016	476	99.2%	414	99.5%	1,554,265	102.3%	6,871	100.0%
29	2017	466	97.9%	406	97.6%	1,600,046	102.9%	7,172	104.4%
30	2018	444	95.3%	397	97.8%	1,587,008	99.2%	7,170	100.0%
令和元年	2019	438	98.6%	364	91.7%	1,588,457	100.1%	6,980	97.3%
2	2020	442	100.9%	370	101.6%	1,551,213	97.7%	7,005	100.4%
3	2021	432	97.7%	365	98.6%	1,587,091	102.3%	7,343	104.8%
4	2022	428	99.1%	364	99.7%	1,598,808	100.7%	7,639	104.0%

## (2) 業務用・家庭用別

業務用は、数量が793,812トン(100.6%)、金額が3,578億円(104.4%)と、数量、金額ともに増加した。

一方、家庭用は、数量が804,996トン(100.8%)、金額が4,061億円(103.7%)と、業務用と同様に数量、金額ともに増加した。なお、家庭用の金額は前年に続き最高値を更新した。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ49.7%、50.3%(前年49.7%、50.3%)と前年同様で、金額ベースでは46.8%、53.2%(前年46.7%、53.3%)の割合となった。前年に引き続き数量ベース、金額ベースともに家庭用が業務用を上回っている。

表-2 数量

		業務用			家庭用		
		トン	対前年比	構成比	トン	対前年比	構成比
平成24年	2012年	894,582	103.5%	60.6%	581,786	105.1%	39.4%
25	2013	919,442	102.8%	59.3%	630,643	108.4%	40.7%
26	2014	931,972	101.4%	60.4%	609,919	96.7%	39.6%
27	2015	903,230	96.9%	59.4%	616,653	101.1%	40.6%
28	2016	917,652	101.6%	59.0%	636,613	103.2%	41.0%
29	2017	937,549	102.2%	58.6%	662,497	104.1%	41.4%
30	2018	899,772	96.0%	56.7%	687,236	103.7%	43.3%
令和元年	2019	896,107	99.6%	56.4%	692,350	100.7%	43.6%
2	2020	779,948	87.0%	50.3%	771,265	111.4%	49.7%
3	2021	788,838	101.1%	49.7%	798,253	103.5%	50.3%
4	2022	793,812	100.6%	49.7%	804,996	100.8%	50.3%

表-3 金額

		業務用			家庭用		
		百万円	対前年比	構成比	百万円	対前年比	構成比
平成24年	2012年	374,449	101.3%	58.2%	268,844	103.3%	41.8%
25	2013	392,114	104.7%	57.9%	285,259	106.1%	42.1%
26	2014	395,547	100.9%	58.1%	284,971	99.9%	41.9%
27	2015	392,594	99.3%	57.1%	294,450	103.3%	42.9%
28	2016	398,532	101.5%	58.0%	288,528	98.0%	42.0%
29	2017	405,556	101.8%	56.6%	311,598	108.0%	43.4%
30	2018	397,633	98.0%	55.5%	319,335	102.5%	44.5%
令和元年	2019	381,514	95.9%	54.7%	316,437	99.1%	45.3%
2	2020	327,882	85.9%	46.8%	372,612	117.8%	53.2%
3	2021	342,762	104.5%	46.7%	391,504	105.1%	53.3%
4	2022	357,781	104.4%	46.8%	406,145	103.7%	53.2%

## (3)品目別

大分類の品目別生産量では、国内生産の大半を占める調理食品(100.9%)が増加したものの、水産物(94.5%)、農産物(99.8%)は減少した。

小分類の品目で前年に対して量的に大きく増加したのは、春巻(4,644トン増、122.9%)、ギョウザ(3,836トン増、103.9%)、パスタ(3,542トン増、105.7%)、うどん(2,997トン増、101.5%)などであった。

減少したのは、カツ(4,766トン減、92.1%)、畜産物(3,421トン減、51.5%)、えび類(3,241トン減、59.2%)などであった(ただし、各分類中の「うち～、その他の～」を除く)。

小分類の品目別生産量における上位20品目を見ると、引き続き、1位うどん、2位コロッケとなったが、3位ギョウザ、4位炒飯となり、ギョウザが初めて3位となった。その他、パスタ(7位から5位)、洋菓子(14位から13位)などが順位を上げた。(小分類の品目別詳細は別添資料を参照)

表-4 品目別数量・金額

			水産物	農産物	畜産物	調理食品			菓子類	合計
						フライ類	フライ類以外	小計		
数量	トン	業務用	33,993	43,018	2,635	234,431	449,673	684,104	30,062	793,812
		家庭用	10,232	19,416	1,000	79,280	675,155	754,435	19,913	804,996
		合計	44,225	62,434	3,635	313,711	1,124,828	1,438,539	49,975	1,598,808
	構成比率	業務用	76.9%	68.9%	72.5%	74.7%	40.0%	47.6%	60.2%	49.7%
		家庭用	23.1%	31.1%	27.5%	25.3%	60.0%	52.4%	39.8%	50.3%
		合計	94.5%	99.8%	51.5%	98.0%	101.8%	100.9%	109.5%	100.7%
	前年比	業務用	98.5%	97.5%	44.8%	98.4%	102.9%	101.3%	103.9%	100.6%
		家庭用	83.2%	105.4%	85.3%	97.1%	101.1%	100.6%	119.3%	100.8%
		合計	94.5%	99.8%	51.5%	98.0%	101.8%	100.9%	109.5%	100.7%
金額	百万円	業務用	33,126	12,013	1,330	109,718	176,469	286,187	25,125	357,781
		家庭用	13,122	6,521	610	61,165	313,930	375,095	10,797	406,145
		合計	46,248	18,534	1,940	170,883	490,399	661,282	35,922	763,926
	構成比率	業務用	71.6%	64.8%	68.6%	64.2%	36.0%	43.3%	69.9%	46.8%
		家庭用	28.4%	35.2%	31.4%	35.8%	64.0%	56.7%	30.1%	53.2%
		合計	104.0%	102.3%	42.3%	102.2%	105.0%	104.2%	109.9%	104.0%
	前年比	業務用	107.2%	98.9%	39.7%	102.4%	106.0%	104.6%	110.6%	104.4%
		家庭用	96.8%	109.0%	49.2%	102.0%	104.4%	104.0%	108.5%	103.7%
		合計	104.0%	102.3%	42.3%	102.2%	105.0%	104.2%	109.9%	104.0%

## 2. 輸入

### (1) 冷凍野菜

財務省貿易統計による令和4年(1～12月)のわが国の冷凍野菜輸入量は1,149,097トン(107.2%)で、前年に引き続き増加した。輸入額も、2,822億円(138.7%)と大幅に増加し、いずれも調査開始以来最高となった。

輸入量が増加した主な品目としては、ポテト(46,657トン増、112.4%)、ブロッコリー(10,186トン増、115.7%)などで、えだまめ(1,466トン増、102.3%)、コーン(4,213トン増、108.7%)もプラスに転じた。

主な輸入先である中国(32,864トン増、106.5%)、アメリカ(9,838トン増、103.3%)、ベルギー(15,249トン増、136.9%)、タイ(865トン増、102.0%)はいずれも増加した。

表-5 輸入量・金額推移

		数量		金額	
		トン	対前年比	百万円	対前年比
平成24年	2012年	952,041	105.9%	133,104	110.8%
25	2013	924,251	97.1%	157,210	118.1%
26	2014	907,964	98.2%	171,965	109.4%
27	2015	911,518	100.4%	187,684	109.1%
28	2016	943,211	103.5%	170,139	90.7%
29	2017	1,008,783	107.0%	187,171	110.0%
30	2018	1,051,938	104.3%	195,121	104.2%
令和元年	2019	1,089,449	103.6%	200,913	103.0%
2	2020	1,032,756	94.8%	186,723	92.9%
3	2021	1,072,390	103.8%	203,394	108.9%
4	2022	1,149,097	107.2%	282,203	138.7%

表-6 国別の輸入量推移

		中国		アメリカ		ベルギー		その他	
		トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比
平成24年	2012年	384,011	103.8%	367,115	108.2%	16,188	103.0%	184,727	106.9%
25	2013	403,065	105.0%	314,334	85.6%	19,285	119.1%	187,567	106.4%
26	2014	408,230	101.3%	296,494	94.3%	18,850	97.7%	184,390	97.6%
27	2015	388,261	95.1%	281,865	95.1%	36,445	193.3%	204,947	122.7%
28	2016	403,938	104.0%	308,580	109.5%	29,861	81.9%	200,832	93.0%
29	2017	432,325	107.0%	326,192	105.7%	36,120	121.0%	214,146	109.9%
30	2018	463,126	107.1%	317,509	97.3%	34,509	95.5%	236,794	111.1%
令和元年	2019	481,834	104.0%	334,961	105.5%	34,021	98.6%	238,633	101.2%
2	2020	471,861	97.9%	311,928	93.1%	34,214	100.6%	214,753	90.9%
3	2021	502,012	106.4%	296,766	95.1%	41,355	120.9%	232,257	113.8%
4	2022	534,876	106.5%	306,604	103.3%	56,604	136.9%	251,013	108.1%

## (2)調理冷凍食品

令和4年の調理冷凍食品輸入量は233,578トン(98.9%)、金額は1,603億円(103.8%)。数量は3年連続で減少し、金額は3年ぶりに増加した。

輸入量のうち、業務用は188,791トン(105.0%)、家庭用44,787トン(79.4%)となり、金額では業務用は1,246億円(110.5%)、家庭用は358億円(85.8%)と、業務用は量、金額ともに増加し、家庭用では量、金額ともに大幅に減少した。

国別では、主要な輸入先の中国(31トン増、100.0%)の輸入量は前年並み、タイ(2,751トン減、97.1%)、ベトナム(95トン減、99.1%)はやや減少したが、金額では、いずれも増加した。

なお、この調査は、当協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている37社を対象にしたものであり、わが国の調理冷凍食品輸入の全体の状況を示すものではない。

表-7 輸入量・金額の推移

		数量		金額	
		トン	対前年比	百万円	対前年比
平成24年	2012年	273,635	111.1%	122,797	112.6%
25	2013	282,651	103.3%	142,542	116.1%
26	2014	261,237	92.4%	135,773	95.3%
27	2015	250,405	95.9%	140,866	103.8%
28	2016	230,735	92.1%	132,242	93.9%
29	2017	245,579	106.4%	153,349	116.0%
30	2018	254,353	103.6%	164,088	107.0%
令和元年	2019	269,043	105.8%	164,373	100.2%
2	2020	254,904	94.7%	156,845	95.4%
3	2021	236,142	92.6%	154,390	98.4%
4	2022	233,578	98.9%	160,331	103.8%

表-8 業務用家庭用別輸入量

		業務用			家庭用		
		トン	対前年比	構成比	トン	対前年比	構成比
平成24年	2012年	238,957	112.3%	87.3%	34,678	103.5%	12.7%
25	2013	248,774	104.1%	88.0%	33,877	97.7%	12.0%
26	2014	232,918	93.6%	89.2%	28,319	83.6%	10.8%
27	2015	225,984	97.0%	90.2%	24,421	86.2%	9.8%
28	2016	201,506	89.2%	87.3%	29,229	119.7%	12.7%
29	2017	214,505	106.5%	87.3%	31,074	106.3%	12.7%
30	2018	214,039	99.8%	84.2%	40,314	129.7%	15.8%
令和元年	2019	221,474	103.5%	82.3%	47,569	118.0%	17.7%
2	2020	201,382	90.9%	79.0%	53,522	112.5%	21.0%
3	2021	179,736	89.3%	76.1%	56,406	105.4%	23.9%
4	2022	188,791	105.0%	80.8%	44,787	79.4%	19.2%

表-9 業務用家庭用別輸入額

		業務用			家庭用		
		百万円	対前年比	構成比	百万円	対前年比	構成比
平成24年	2012年	104,400	115.4%	85.0%	18,397	98.9%	15.0%
25	2013	122,079	116.9%	85.6%	20,463	111.2%	14.4%
26	2014	118,900	97.4%	87.6%	16,873	82.5%	12.4%
27	2015	123,982	104.3%	88.0%	16,884	100.1%	12.0%
28	2016	113,022	91.2%	85.5%	19,220	113.8%	14.5%
29	2017	126,544	112.0%	82.5%	26,805	139.5%	17.5%
30	2018	131,592	104.0%	80.2%	32,496	121.2%	19.8%
令和元年	2019	127,586	97.0%	77.6%	36,787	113.2%	22.4%
2	2020	119,698	93.8%	76.3%	37,147	101.0%	23.7%
3	2021	112,694	94.1%	73.0%	41,696	112.2%	27.0%
4	2022	124,576	110.5%	77.7%	35,755	85.8%	22.3%

表-10 国別の輸入量推移

		中国		タイ		ベトナム		その他	
		トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比
平成24年	2012年	164,087	112.5%	94,288	121.9%	9,661	115.1%	5,599	38.0%
25	2013	165,944	101.1%	101,018	107.1%	10,711	110.9%	4,978	88.9%
26	2014	147,096	88.6%	96,591	95.6%	10,993	102.6%	6,557	131.7%
27	2015	137,471	93.5%	97,851	101.3%	10,758	97.9%	4,325	66.0%
28	2016	113,456	82.5%	94,978	97.1%	11,273	104.8%	11,028	255.0%
29	2017	129,828	114.4%	105,108	110.7%	7,745	68.7%	2,898	26.3%
30	2018	127,813	98.4%	108,994	103.7%	9,610	124.1%	7,936	273.8%
令和元	2019	136,965	107.2%	108,184	99.3%	7,743	80.6%	16,151	203.5%
2	2020	104,201	76.1%	97,901	90.5%	10,793	139.4%	42,009	260.1%
3	2021	114,911	110.3%	95,921	98.0%	10,500	97.3%	14,810	35.3%
4	2022	114,942	100.0%	93,170	97.1%	10,405	99.1%	15,061	101.7%

表-11 国別の輸入金額推移

		中国		タイ		ベトナム		その他	
		百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比
平成24年	2012年	70,298	112.1%	44,679	124.1%	5,074	114.6%	2,746	46.6%
25	2013	77,171	109.8%	55,673	124.6%	6,706	132.2%	2,992	109.0%
26	2014	69,186	89.7%	56,051	100.7%	6,632	98.9%	3,904	130.5%
27	2015	70,948	102.5%	60,731	108.3%	6,049	91.2%	3,138	80.4%
28	2016	61,588	86.8%	56,601	93.2%	6,706	110.9%	7,347	234.1%
29	2017	72,269	117.3%	73,440	129.8%	5,508	82.1%	2,132	29.0%
30	2018	72,655	100.5%	79,048	107.6%	5,874	106.6%	6,511	305.4%
令和元	2019	69,428	95.6%	72,426	91.6%	5,361	91.3%	17,158	263.5%
2	2020	49,470	71.3%	59,919	82.7%	5,503	102.6%	41,953	244.5%
3	2021	58,039	117.3%	67,192	112.1%	6,141	111.6%	23,018	54.9%
4	2022	64,158	110.5%	70,344	104.7%	6,543	106.5%	19,286	83.8%

### 3. 国内消費

当協会では、「冷凍食品国内生産量」「冷凍野菜輸入量」および「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

令和4年のわが国の冷凍食品消費量は、上記の国内生産量 1,598,808 トンに、冷凍野菜輸入量 1,149,097 トンと、調理冷凍食品輸入量 233,578 トンを加えた 2,981,483 トン(103.0%)と増加した。これを総人口(124,947 千人)で割った国民1人当たりの年間消費量は、23.9 キログラム(0.8 キログラム増、103.5%)といずれも過去最高となった。また、金額ベースも1兆2,065 億円(110.5%)と大幅に増加した。

なお、前述のように調理冷凍食品の輸入については、当協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者等が輸入しているものを考慮すると、実際の「消費量」はこの298万トンを上回るものと考えられる。

表-12 数量

		国内生産量	冷凍野菜 輸入量	調理冷凍食品 輸入量	合計(消費量)		国民1人 当たり消費量
		トン	トン	トン	トン	対前年比(%)	kg
平成24年	2012年	1,476,368	952,041	273,635	2,702,044	105.4	21.2
25	2013	1,550,085	924,251	282,651	2,756,987	102.0	21.7
26	2014	1,541,891	907,964	261,237	2,711,092	98.3	21.3
27	2015	1,519,883	911,518	250,405	2,681,806	98.9	21.1
28	2016	1,554,265	943,211	230,735	2,728,211	101.7	21.5
29	2017	1,587,008	1,008,783	245,579	2,841,370	104.1	22.5
30	2018	1,587,008	1,051,938	254,353	2,893,299	101.8	22.9
令和元年	2019	1,588,457	1,089,449	254,904	2,932,810	101.4	23.4
2	2020	1,551,213	1,032,756	254,904	2,838,873	96.8	22.6
3	2021	1,587,091	1,072,390	236,142	2,895,623	102.0	23.1
4	2022	1,598,808	1,149,097	233,578	2,981,483	103.0	23.9

表-13 金額

		国内生産額	冷凍野菜 輸入額	調理冷凍食品 輸入額	合計	
		百万円	百万円	百万円	百万円	対前年比(%)
平成24年	2012年	643,293	133,104	122,799	899,196	104.6
25	2013	677,373	157,210	142,542	977,125	108.7
26	2014	680,518	171,965	135,773	988,256	101.1
27	2015	687,044	187,684	140,866	1,015,594	102.8
28	2016	687,060	170,139	132,242	989,441	97.4
29	2017	717,154	187,171	153,349	1,057,674	106.9
30	2018	716,968	195,121	164,088	1,076,177	101.7
令和元年	2019	697,951	200,913	156,845	1,055,709	98.1
2	2020	700,494	203,394	154,390	1,058,278	100.2
3	2021	734,266	203,394	154,390	1,092,050	103.2
4	2022	763,926	282,203	160,331	1,206,460	110.5

《別添資料》

1. 冷凍食品の国内生産及び消費
2. 品目別国内生産
3. 品目別国内生産及び構成比率と1キログラム当たり金額
4. 国内生産量上位20品目(平成29年～令和4年推移)
5. 日本の冷凍野菜品目別生産国別輸入
6. 調理冷凍食品輸入